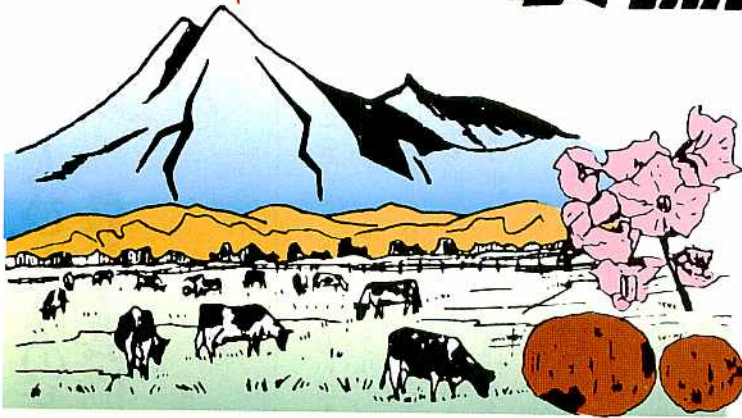


なかいべつ

農協だより



第121号

昭和60年1月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

1985年 元旦



新年号

中標津町農業協同組合



一人ひとりの英知を結集して 農業・農協を守ろう！

中標津町農業協同組合
組合長理事 児玉光彦

明けましておめでとつございます。

年頭に当り、組合員はじめご家族の皆さまが健康で新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、農畜産物の輸入自由化を迫るアメリカの要求に端を発した日米農産物交渉において、我が国は牛肉輸入の枠を拡大せざるを得ない状況に追い込まれ、またオセアニア諸国・ECからも市場解放要求が続出するなど、一昨年から増して、外圧が強まった年でした。

一方、国内の農業生産に目を向けると全国的に好天に恵まれ一部地域にあっては干ばつの影響を受けたものの、豊作の便りに沸いた一年でした。

北海道においても米や畑作物は大豊作となり、一次産業に依存する体質の強い本道経済にとって、明るいニュースでした。

当農協管内におきましても、牛乳生産を見ますと、秋口より増産傾向に転じ、酪農近代化計画の伸び率に近く、秋作物においても平年以上の収量を得ることが出来ました。

このような一年の中にあつて本年を考える時、農業情勢は相変わらず厳しい状況にあり、第二次中曽根内閣に期待するも、農業関連補助金の削減や記帳制度の導入による税金問題など、取りまく情勢はますます厳しくなることが予想されます。

そこで農協では、新しい時代に対応する方策のひとつとして

コンピュータを導入し、組合員サービスの一層の向上と事務処理の迅速化の可能性について探ることとしていますので、皆様方のお知恵を拝借しながら、有効に活用していきたいと考えています。

さて、昨年の秋より、アフリカ諸国では干ばつによる食糧不足が深刻化し、数千万人とも言われる人々が餓死あるいは飢餓

に直面しています。日本は「飽食の時代」と言われて久しくなりましたが、やせ細った体で瞬きひとつせず、じっと一点を見つめる姿を思う時、命の糸である食糧を生産することの重要性を改めて痛感するのです。

とに誇りを持ちながら、一人ひとりの英知を結集して、農業・農協を守り、発展させていきたいと考えております。

最後になりましたが、この一年も組合員はじめご家族のご健康とご多幸を、そしてまた豊作の年でありますよう心よりお祈り申し上げご挨拶と致します。



左上から/久我良夫理事、山本秀夫監事、岡部実監事、西山健理事、斉藤哲雄理事、竹下日吉理事、佐々木政行理事 左下から/佐藤康代表監事、秋山政雄理事、山本雪信理事、児玉光彦組合長理事、鷲見孝副組合長理事、藤井弘美理事、竹村満夫理事



新世紀に向け 前進の節目

北海道農業協同組合中央会
会長 床鍋 繁 則

新年おめでとうございます。

昨年は、一部の地域で干害等
がありましたが、大勢とし
ては豊作のうちに新年を迎える
ことができましたことは、同慶
にたえません。一九八五年の新
春に当たり、ことしも豊穰の年
でありますことを心から祈念い
たします。

ことしは「昭和還暦」という記
念すべき節目の年に当たります
が、同時に二十一世紀まで十五
年という、今世紀終盤の大切な
時代にも相当し、極めて意義深
い年であります。また干支(え
と)のうえでは「ウシ年」という
農業にとって縁の深い年であり
この節目を契機に、活力ある新
しい北海道農業への転換の年に
したいものと念願するものであ
ります。

りまく情勢は、国際的政治・経
済の動きを無視できないという
国際化時代の渦中にあり、いま
や農業に関しても世界的視野で
の展望を要する環境にありま
す。対応のひとつとして、私は
昨秋、日本農業代表団の一員と
して、米・欧農業を訪問する機
会を得、日本の立場を強く主
張・理解を求めてまいりました
が、われわれは「食糧は自国で
まかない、不足するものは輸入
する」という、日本農業の基本
的基調を今後も強く貫かなけれ
ばならないと思えます。

内にあつては、幸い本道では
系統組織をあげて新しい時代に
ふさわしい北海道農業を築く指
標として、昨年「北海道農
業基本構想」の実践に入つてお
り、これが転期の礎となること
を期待しているところでありま
す。

この構想実践の主役は、組合
員農家および系統組織であり、
協同の旗印のもと、総力を結集
して具体的実践に取り組まれる
ことを切望してやみません。
そして、二十一世紀の新世紀
に向け、いまこそハイテクノロジー

か思うようにならないのが本当
でしょう。
さて、今年も牛年です。私た
ちの毎日の生活と深い関係があ
る牛です。のろいことを牛のよ
うにとよく言われますが、しか
し牛はきつと我慢強く、耐える
ことを得意とし、悠々と自分の
ペースで生きているものと思わ
れます。この騒々しい世の中、
私たちが牛のようにマイペース
で生きたいものです。



年頭の「ごあいさつ」

中標津町農業協同組合
参事 三浦 準 治

明けましてお目出度うござい
ます。
昨年は当初の子想を裏切つて
大変暑い夏になりました。大豊
にしながらの農業だけになかな

作とはならないまでも、それな
りの作況で終り、ひと安心した
ところであります。自然を相手
にしながらの農業だけになかな

組合員・ご家族の皆さんの今
年一年のご多幸を心からお祈り
申し上げます。



新年の「ごあいさつ」

北根室地区農業改良普及所
所長 松岡 賢

輝かしい昭和六十年の初春を迎
え、心からお慶びを申し上げます。
昨年は五月に一時低温が続
き、一昨年に続く冷災害が心配
されましたが、六月以降のかつ
てない高温と皆様のご努力で、

牧草を始め各作物とも平年並の
収量を得ることができました。
しかし、地域の基幹作物であ
る生乳生産は、前年収穫された
粗飼料の品質低下や七、八月の
高温が災し、前年比一〇三パー

セント台と当初目標を下廻り、
乳成分についても前年より若干
低下している状況であります。
また、秋以降の個体価格の低
迷も相まって、収入の伸びは一
段と鈍化の傾向にあります。こ
のような状況の中で、生産費は
濃厚飼料費を中心に着実に増加
しており、農家経済は一段と厳
しさが増した一年であったかと
考えます。本年もまた、我国の

年頭の「あいさつ」



農協青年部部長
白 築 政 博

農業をとりまく情勢には、なんら回復のきざしの見えない厳しいものが予想され、この厳しさを乗り切る経営の確立が急務であります。「一年の計は元旦にあり」と言われております。本年一年間の営農を総り多いものにするため、夫々真剣に計画を樹立されていることと存じますが、今一度昨年記録に目を通り、反省を加えての樹立が大切です。一頭当りの乳量の増加を上廻る濃厚飼料の多給は、所得率の低下を招き組勘収支を悪化させております。この解決策は何と言っても、良質相飼料の確保にあります。普及所では昨年に引き続き、「自給飼料基盤を充実した高所得経営の確立」を目標とした営農技術資料を作成致しました。この資料をもとに皆様方と膝をまじえて話し合い、厳しい時代に対処できる経営確立に所をあげて取り組む所存であります。年頭にあたり、所信の一端を述べさせて頂きました。本年が総り多い豊かな年であり、ますます皆様のお多幸とご健康を心から祈念申し上げます。挨拶と致します。

昭和六十年の新春を迎え、部員をはじめ家族の皆様にお慶び申し上げます。

今年は、部員全員が新しいリーダーとしての自覚を持ち、その行動力を発揮できるステージ作りが役員の仕事だと考えております。昨年は行動できる人材を掘り起すために、役員がそれぞれの力を発揮できるステージを作りました。結果は思っていた以上に各事業に生かされ、特に事業をただ消化したのではなく、その意味合いを考え、反省し、今後のあり方を検討する段に至るまで役員それぞれの考えが存分に出来ました。そして、この町の基幹作目である牛乳・馬鈴薯の消費拡大や農業に関する諸問題を農協や青年部の中だけで、ああしろ、こうしろ、と話し合っただけであって、他農協の青年部とか、消費者団体とか、

青年会議所とか、教職員サークルとか、自分達と立場を異にする人達と交流を深めながら、地域農業に活力を与えてゆく。また町の発展のための事業をみんなで作ってゆく姿勢の必要性を見い出しました。これは、今年からの青年部活動に於けるワンステッパにすぎないのです。従来通りの青年部のあり方から脱皮して、新しいスタイル



農協婦人部部長
酒 井 拓 子

輝しき新春を 迎えて

の青年部活動が求められてきていると思います。消費拡大事業にしても、毎年同じ事の繰り返しにしてアヒールしてゆくのでは、何も意味を持たないのです。地域の消費者へいろんな方法でインパクトを与えてゆく、意外性のある事業への転換が必要で、農政活動にしても、中央主導の運動より地域住民総ぐるみで運動を展開できる体制作りを心掛けてゆかねばなりません。これらの運動は、教養があるとか、まとめる力があるリーダーが先頭を切っているのでは、おもしろくありません。意外性があり、おもしろい人間、好奇心が旺盛で、細かい事によく気がつく人間、理屈でなく建設的な意見が言える人間、憶測をしない人間、これが新しいリーダーの特性であり、部員みんなが持ち合せているキャラクターなのです。そして、運動の主人公で、自由な発想の中で農業の意味を見出し、新しい農業を切り拓く事ができると同時に、新しいスタイルの青年部活動の新しいリーダーとして、地域の農業者や地域の仲間達と共に生きていって欲しいと思います。今後とも皆様の活躍をお祈りし年頭のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございませう。部員の皆様には、輝しい新春をお迎える事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は、ベテランの安達部長よりこの大役を受け継ぎ、浅学

不足に悩まされました。しかし全般には豊作の年であったと思えます。

私共を取りまく厳しい農業情勢は、立ち去る事を知らず、乳価の据置き、諸物価の高騰する中で、私達は、家計簿の記帳推進、無駄を省いた新生活運動の推進等、組織の力を活用して進めていかなければなりません。

私達、主婦は生活・健康の管

理事会の経過

第11回理事会

■開催月日 11月30日(金)
 ■開催場所 農協役員会議室

理者である事を自覚され、我農協を寄りどころとして、学習活動・実践活動を進めていかなければならないと思います。また懸案事項でもありました三層活動も、ゆっくりながらスタートし、青葉会の初会合が私の初仕事となりました。新生活運動の推進についても、三年目を迎へぜび実践に向けてのスタートの年にしたいたいと考えております。私も、部長の大役を受け継いで以来「おふくろの味を大切に」

を指針とし、部員の皆様にも呼びかけて参りましたが、古さにはかり翹り付いていたのでは発展は望めません。古さに親しみ新しさを活用していく事が大切ではないでしょうか。私達婦人も、この厳しい農業情勢の時こそ、大空を飛ぶ鳥が風の強い時は低く、体を縮め厳冬を生き抜くように外圧に屈する事なく、自主・自立・自分の足で立つ、足腰の強い農業者を目指さなければなりません。

私も微力ではありますが、部員相互の親睦を図り、部員の皆様の英知を結果として、組織活動の活発化に努力したいと考えておりますのでご協力下さいませ。ようお願ひ申し上げます。どうぞ、今年も部員の皆様、ご家族の皆様には健康で努力が報われる実り多き年でありませう祈念致しまして年頭の挨拶と致します。

〈議案〉

一、系統肥料推進費の支出について

系統肥料推進費支出額

四、五二七、六三〇円

支出期日及び方法

昭和五十九年十二月五日

組勘又は普通貯金に振込み

原案どおり決定しました。

二、農地取得に対する融資制度の一部改正について

貸付期限

現行 五年以内

改正 貸付額二〇〇万円以内は五年以内

内は五年以内

二〇〇万円を超える

額は十年以内

利率 年七・五パーセント

原案どおり決定しました。

三、競売による債権回収について

原案どおり承認され決定しました。

四、固定資産(農倉)の処分について

一号木造、三号ブロック農倉の固定資産処分、原案どおり決定しました。

五、出資金の減口について

原案どおり承認され決定し

り決定しました。

原案どおり承認され決定し

り決定しました。

乳検協議会の会員へお知らせ

粗飼料分析の実施について

粗飼料の分析を致しますので、希望者は一月十日に各支部の役員宅へ届けて下さい。十二日に分析センターへ発送致します。

サンプルは(サイレー)五〇〇g、乾草三〇〇g、ビニール袋(スーパー等の袋で結構です)に詰めマジックで必ず農家番号・収穫月日・番草を記入して下さい。

〈協議事項〉

一、組勘取引中間協議の再協議について

各々組勘の零精算について協議されました。

二、公社営畜産基地建設事業の実施計画について

六十年年度実施希望事業費

四四七、七二二千元

内予算見込

二二八、〇〇〇千元

(入植者について)

畜産総合施設事業の共進会場等について協議されました。

〈報告事項〉

一、人工授精師の採用について

二、定例自治監査の実施結果について

三、農業後継者結婚対策会議の経過について

四、昭和五十九年度澱粉工場の操業実績について

五、その他

(一)道常例検査の回答について

(二)農連事務所の移転と専用電話について

(三)職員の前年延長について

(四)事務所拡張について

(五)パソコン導入について

(六)税対策・記帳制度について

(七)乳検後代検定について

全道農協婦人部大会

農業者年金制度の改善を訴える!!

農協婦人部部長 酒井拓子



熱気ムンムンの会場

農協婦人部全道大会が、十一月十四日・十五日の両日、温根湯温泉で開かれました。

「生活設計の樹立と徹底した健康管理により、農家生活の改善と充実をはかりましょう。」をテーマに、一千人余りの婦人が集いました。一日目は、組織・農業・生活・健康・若妻の六分科会に分かれ、分科会毎に課題を決め、活発な討議が行われました。分科会の後、家の光大会が開かれ、若妻の主張・道代表の発表と、家の光記事体験発表が

ブロック代表によって行われ、余市農協の幡野テルさんが最優秀賞に輝きました。発表者の皆さんは、それぞれに生活に密着した発想と家の光より得た記事を活用し、組織活動へと輪を広げ、根気よく努力された体験談で、私としても大変教えられました。二日目は、道産子作家といわれる高橋撥一郎さんの「北国に生きる」と題して、基調講演があり、作家の目を通して、開拓時代以来、風雪の中で男まさりに生

きて来た北国の女、未開の文化をもつ巨大な島北海道、やがて来るであろう日本のハラタイスとしての北海道を語って頂き、北国に住む者として北国にしかない産業や隠された文化を発掘し大切にしたい。また、基調講演の後、本大会を開き、前日の分科会報告と全体討議が行われ、三層活動の実態、部員の加入促進、農業者年金制度の改善運動、後継者の育成、家計簿記帳による生活設計の樹立、日本型食生活の普及、親しみやすい農協に、等の意見が報告され、申し合せ事項を採択して大会を終りました。中でも、農業者年金制度の改善については年毎に盛り上りを見せ、関心が高まっている事を示しています。今回は、若妻部会からの出席がありませんでしたが、来年度に向けて、ぜひ参加を希望しております。また、家の光記事生活体験発表も来年は当婦人部が当番となっておりますので、ふりつてご応募下さるようお願い致します。

農協青年部 全道大会に参加して

農協青年部副部長 小林 茂

第三十三回全道農協青年部大会は、去る十二月五日・六日の両日、定山溪温泉の定山溪ホテルにて全道各地より盟友八〇〇余名が集い開催された。まず四分科会に分れ、さらにそれぞれを小分科会に分け、少しでも多くの人の意見を求めようとする主催者側の思案が伝わった。続いて、我が国農業・農村の課題と北海道農業への期待」と題して、農林水産省北海道農業対策室長・中川聡七郎氏の記念講演を聞いた。農業・農村の課題と役割、二十一世紀に向けての展望、そして北海道への期待と三つの大きな観点から農業を見つめ、「我々北海道の農民はいかにあるべきか。」を言葉静かに、とくとくと語ってくれた。



酪農畜産問題分科会討議風景

全道大会に行く前に、「必ず何かつかんで来いよ。」と励まされたのだが、晩に、琥珀色のコップをつかむのが精々で申し訳けなく思っている。ただ、「いつも農業について人と語る事を心に置くべきだ。」と言う事は痛切に感じてきた。

千歳空港を離陸すると石狩平野にはとんどん街並みが広がり企画されたような田畑がうっすらと雪をかぶっている。三十分も飛ぶと台地にタイルを規則正しく並べたような広大な十勝平野が眼下に開け、その区画のみことさに改めて感心した。そして釧路から中標津。ここにも広大な台地があり、落葉樹の林が点在し、色あせた草地が不規則に散らばっている。まだ荒々しいがゆえに可能性を大いに秘めたこの根釧原野が、やがて根釧平野と呼ばれる日が来るであろう事を確信しながら、タラップを降りた。

新採用 職員紹介



長 淵 豊くん(22才)

★出身地★
中標津町
★学歴★
59年3月 酪農学園大学卒

私が、兼ねてから希望していた中標津町農協に、就職出来まして、本当に嬉しく思っています。

私は、今年四月に、酪農学園大学を卒業し、ある農業に関連した商社に入社して、家畜の飼料を販売しておりました。

私の担当していた地区は、この根根地区よりも、飼養管理、または経済面等でかなり全般的に進んだ地区でありました。私は、それらの良き状態、悪き状態を七カ月間ではありますが、自分の体で学んできました。

この事は、今回私が配属になった家畜改良課において、飼養管理等の影響が顕著に表れる繁殖障害等に役立てる事が出来ますし、また、今まで以上に勉強し、もつともつと農業にのめり込んで行けるのではないかと考えています。

まずは諸先輩達に早く解け込み、農家の方々より信頼を得れるように、明るく爽やかに勤めて行きたいと思っています。

武佐通信員だより

躍動の年に!!

武佐ミュージック・カンパニー・
マークインの誕生

武佐地区にミュージック・バンドが誕生した。正式名称は武佐ミュージック・カンパニー・マークイン(M・M・Cマークイン)というそうだ。

十月上旬に産声を上げたばかりだが、すでに二回の演奏会を開いた。旗揚げ公演は武佐小中学校の文化祭。二回目は乳牛改良同志会の忘年会と

のこと。レパートリーは現在五曲あり、ニューミュージック系統とのこと。過去二回の演奏会では、曲目が若向きだったのでお年寄りの理解が得られず反響も今ひとつのこと

とだった。このグループが設立したそもそものキッカケは、何かの寄り合いで音楽好きな安達和永、土井上春夫、林文雄、安達武の各氏が雑談中に生まれたものだった。ここでメンバーを紹介しよう。ドラム・安達和永、リードギター・田中世一、ベースギター・佐藤尚、ボーカル・キーボード・三宅政文、キーボード・勝木絵里(武佐小中学校教員)、テナリサククス・ボーカル・阿部恵子(別海町商工会職員)。以上の各氏に顧問兼マネージャーとして前述の三氏のほか、萱岡秀貴氏、佐藤敏昭氏が加わっている。

小生は、この情報を得て何の知識も持たず安達和永氏を訪問した訳だが、演奏者の年令構成を聞いてビックリ。ほかの五氏が二十二〜二十三才というのに今様に言えば、オジンである和永氏がドラムを叩いているというのである。しかも笑みを浮かべ、楽しそうに話すのである。しかし、小生には合点がいかない。

話がかなりそれってしまったが、演奏中にステイックを落したり、マイクが入らなかつたりで、失敗続きの船出だったらしいが、いつしか定期演奏会が開けるまでに成長した姿を見たいものだ。

レパートリーも広げ、お年寄りにも喜んでもらえるような曲目を選定したいと話されているので今後の活躍に期待しよう。

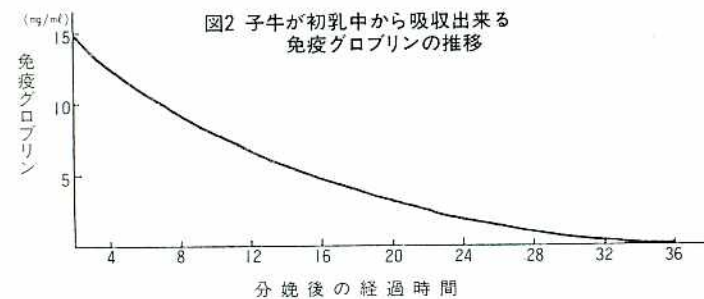
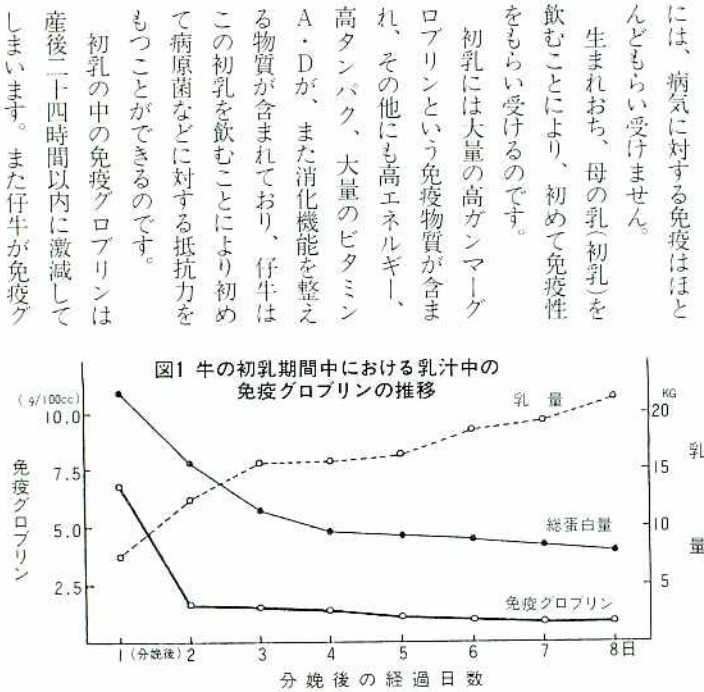
＝育成牛飼養管理改善＝

あなたは
初生牛に
初乳を
与えているか？

仔牛は母牛の胎内にいるとき
には、病気に対する免疫はほと
んどもらい受けません。
生まれおち、母の乳(初乳)を
飲むことにより、初めて免疫性
をもらい受けるのです。
初乳には大量の高ガンマーグ
ロブリンという免疫物質が含ま
れ、その他にも高エネルギー、
高タンパク、大量のビタミン
A・Dが、また消化機能を整え
る物質が含まれており、仔牛は
この初乳を飲むことにより初め
て病原菌などに対する抵抗力を
もつことができるのです。
初乳の中の免疫グロブリンは
産後二四時間以内に激減して
しまいます。また仔牛が免疫グ
ロブリンを吸収する能力も分娩
後四時間くらいから減り始め、
三十六時間を経過すると、ほと
んど吸収しなくなります。です
から初乳は生後早い時期にでき
るだけ多く給与するほど効果が
あります。
給与方法は、生後三時間以内
に充分(一kg程度)飲ませ、その
後は六〜八時間ごとに一〜二kg
を給与するのが良いと思いま

す。また、最低一週間くらいは
母乳で育てるのが望ましいと思
います。
余った初乳については、ポリ
袋などに一〜二kg程度に分包し
て冷凍保存しておく、あとで
解凍利用できますし、発酵乳と
しても利用できます。発酵乳の
作り方は、健全な初乳をポリバ
ケツ等に入れ、一日一〜二回必
ず攪拌します。これで温度十五
度で二週間、十度で一カ月程度
保存出来ます。給与方法は一日
当り発酵乳二・五kgに〇・五kg
の水を加えて給与するのが適当
かと思えます。
乳牛としてのもって生まれた能
力を発揮できるか否かは育成期
の飼養管理次第です。その育成
期の中でも、生まれおち、十分
な初乳を飲ませることが育成技
術の大きなポイントです。
乳用牛として、また肉用素牛
としても、こじらせない牛をつ
くるために、健康な初乳を正し
く充分に与えて下さい。
(家畜改良課)

乳用牛群総合改良
推進事業(乳検)について



- 昭和三十九年から「乳用牛資
質向上対策事業」として実施し
て来たが、時限立法の關係で五
十九年度から標記の名称に改正
となりました。改正点は次の三
つです。
- ①委託事業から補助事業へ
 - ②繁殖(一部有料)酪農情報の提供
 - ③後代検定の導入
- 特に③後代検定の導入すること
を条件に認められ継続になった
事業です。(六十五年度まで)
- 後代検定のあらましを箇条書
にすると
- ①選抜事業、種畜牧場、民間
 - 後代検定候補種雄牛は
 - ①精液は交配対象雌牛一頭当
り二本(同じ種雄牛)配布さ
 - ②候補種雄牛は娘牛の検定が
終了する迄待期しています。
従って市販はされません。
 - ③対象雌牛から生まれた娘牛
は原則として初産検定終了
まで飼養することになりま
す。
 - ④乳検会員の所有牛でマスタ
ー登録牛か将来マスター登
録予定牛。
 - ⑤六十年一月から六月までの
間に授精が可能な牛。
 - ⑥対象雌牛から生まれた娘牛
は原則として初産検定終了
まで飼養することになりま
す。
 - その他として

れ精液料は無料ですが、授精技術料は有料です。

② 一本で受胎した時の残り一本については他の牛に使用もしくは廃棄してもかまいません。

③ 二本で受胎しなかった時はその雌牛は打切りとなります。

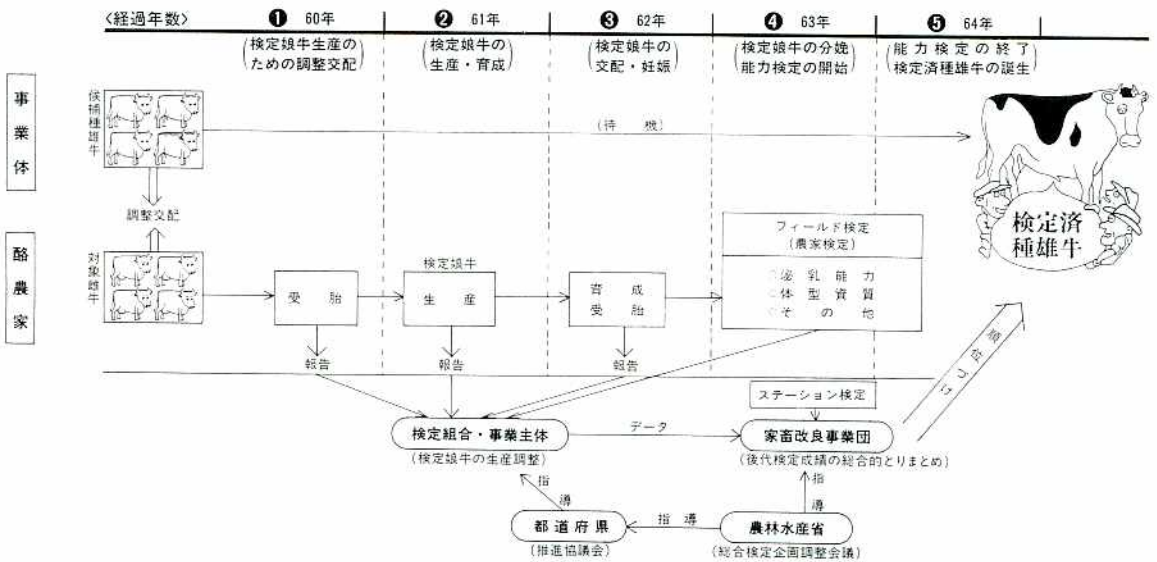
④ 事業団等の後代検定と違い、今のところ協力金は有りません。

以上ですが、質問があれば酪農課または担当人工授精師に聞いて下さい。一月から実施になります。候補種雄牛の選定は担当人工授精師に一任してあります。

尚、当組合長が五十九年八月に北海道乳検協会の会長に就任しましたが、会長も後代検定の趣旨は充分理解出来るが、問題点も多く、会員の協力と知恵を借り改善すべき点は国・道に要望して行きますので、尚、一層のご理解とご協力を願いたいとの談話がありましたので申し添えます。

(酪農課)

総合検定事業のしくみと進行図



シリーズ

報徳実行の勧め

お金とのつきあい方②

お金には2つの種類がある！

自分の金は働いた代償、汗のしみこんだお金。

借りた金は信用と信頼で流通するお金ですから、農漁家は相対の資産もあり、簡単に手に入る金、貯金どころでない金です。この二つの金、財布に入ると区別が付きません。それだけに金の使い方を身につけましょう。

自分の金 俺の金だからどう使おうと俺の勝手。私の勝手でしょう。では、芸も能もない。自分の金といつても、儲けさせて

くれたのは誰ですか。資材を売ってくれた協同組合、生産したものを買ってくれた人のお蔭であることを忘れていませんか。このお蔭に気づけば、自分のお金といつても、全部使わず一部分は必ず貯金する。このお金が廻り廻って、社会のお役に立ちお蔭にお返しすることになります。

これなら永久安泰。おまけに利子というお礼金までいただけます。

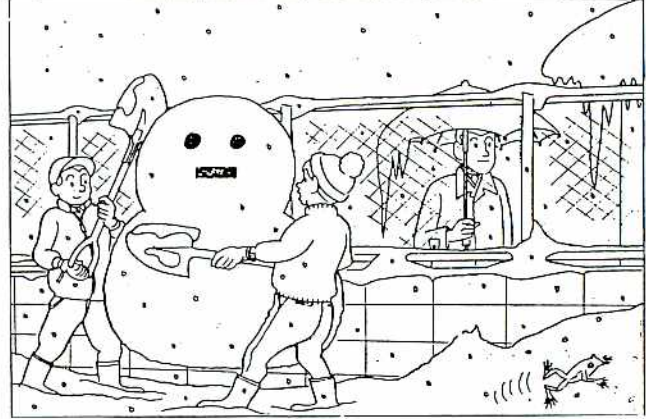
借りた金 経営・生活にお金が足りなければ簡単に借金する人が増えていきます。一番ひどいのはサラ金のお世話になっている人が全国で四百万人というから驚きです。農漁家の場合は、おおむね協同組合からでしょう。

この場合、生活の借金は絶対にしてはならない。生産のための借金はその金を使えば必ず儲けになって戻ってくる。しかもそういう人はこの金を生かして使える実行力と計算の確証がない限り借りはしない。

借金をすれば利息が必要。つまり社会への返礼金です。

小・中学生の応募を
お待ちしております。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。

②あなたの氏名・住所・年令を書いて下さい。

③対象者＝小・中学生

④宛先＝中標津町東七条南一丁目

中標津町農協組織広報係

⑤締切日＝一月二十日まで

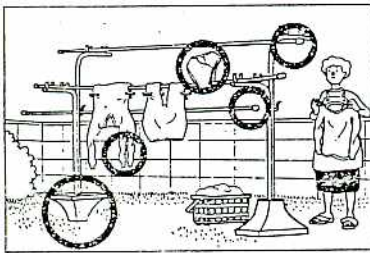
*応募下さった方には全員参加賞を差し上げます。なお、正解者には当り賞を贈呈いたしますので多数応募下さい。

*発表は三月号紙面で行います。

〔十一月号の当選者〕

十一月号の正解は「五つ」(下の図の○印)でした。応募者数十五名で正解者は十三名でした。正解者は下記のとおりです。

<11月号の間違い箇所>



- | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|--------|-------|--------|--------|-------|------|---------|---------|---------|--------|
| 西武佐 | 南武佐 | 豊岡 | 高嶺 | 侯落 | " | " | " | " | " | 開陽 | 西共栄 |
| 藤原智樹くん | 井口明子ちゃん | 白築萌ちゃん | 小林稔くん | 小林健一くん | 上村孝和くん | 乾達也くん | 乾智くん | 乾かおりちゃん | 国見純一くん | 国見裕美ちゃん | 久保晃一くん |
| | | | | | | | | | 国見由紀広くん | | |



お知らせ

年始の業務日程について

- * 一般業務 1月7日(月)より
- * 金融 1月4日(金)より
4日午後3時まで
5日午後1時30分まで
- * 店舗 1月7日(月)より
- * スタンド 1月4日(金)
午前9時30分から
午後3時まで
- 1月7日(月)より
- * 人工授精 1月4日(金)より

12月の組合日誌

- 十二〜十三日 馬鈴薯総合対策協議会
 十五日 組合長会議 農協企画会議
 十八日 営農委員会
 十九日 職員組合との協議
 二十日 役員協議会
 二十一日 農協酪対役員会
 二十五日 役員会
 四日 職員組合との協議
 十一日 参事会議